



My Town Tobetsu

広報

とらペコ

発行＝当別町 編集＝企画課 No. 447 平成2年12月1日発行

祝

美太出張所落成 美太出張所落成 狩太出張所落成 石狩太出張所落成 線別町落成 沼別町落成 札当落成

平成2年
11月4日



飛躍120年

希望の

当別
北海道旅客



12

「国際交流のシンボルに」
11月4日JR太美駅舎落成

スウェーデン風 JR 太美駅舎が落成 国際交流のシンボルに



ベニガラ色に白色の窓が似合う JR 太美駅舎

JR 札沼線太美駅舎がスウェーデン風建物に改築されて11月4日、同駅前広場で町、JR関係者や町民など約200人が出席して落成式を行いました。

旧駅舎は昭和9年の札沼線開通の時に建てられたもので、老朽化が著しいため、JRと町の協議で、駅舎と役場出張所を併設することで話が進められてきました。

スウェーデン風建物となったのは、当別町がスウェーデン・レクサンド市と姉妹都市提携を結び、国際交流を活発に行っていることから、国際交流のシンボリックなものとして考えから生まれました。特に今年の3月にスウェー

デンのカール16世グスタフ国王がスウェーデン交流センターに立ち寄るなどしたため、これを記念して駅舎の改築と、同駅から国道337号までの間をスウェーデン大通と名付け、道路整備もすることにしたものです。

スウェーデン風駅舎は、木造平家建て158平方メートルで、役場出張所は建物に向かって右の92平方メートルとなり、中には事務所町民サロンと公衆トイレが設置されています。

総工費は約4,500万円、町はふるさと創生資金から2,570万円を支出し、残りをJRが負担したもので



地元の西当別小学校児童鼓笛隊の演奏でオープニング

この建物は、スウェーデン交流センターのセンターホールをデザイン化した形で、ブラウン色の屋根にベニガラ色の外壁、屋根の上の塔には直径70センチの時計がついており、建物内のイスやテーブルもスウェーデン交流センターの木材工場で製作されたものが使用されています。

また、町民サロンには、同センターのガラス作品も展示されるなど、見て楽しめる工夫もされています。

落成式は、西当別小学校児童鼓笛隊の「聖者の行進」の演奏の中、配野町長、宮本源之丞町議会議長、平野鉄也石狩支庁長らがテープカットし、新駅舎の完成を祝いました。



配野町長らによるテープカットで太美駅舎の落成を祝った



大正9年に建てられた旧太美駅舎



ディーゼル車が停車すると、北欧のロマンが漂う太美駅



町民サロンは木のぬくもりでいっぱい

平成2年度当別町表彰者表彰式



平成2年度当別町表彰受賞者



今年も喉の調子は最高だね～



「これアートフラワー、信じられますか」

人1団体が表彰されました。表彰式では、配野定平町長が自治貢献賞の森本登志男さんから一人ひとりに、表彰状と記念品を手渡したあと、「永い間、町発展のため協力いただき感謝申し上げます。開基100年の節目の年を契機に更にご尽力をお願いします」とお礼を述べました。

受賞者は、次のとおりです。

〔敬称略〕

〔自治貢献賞〕
森本登志男(獅子内) 右近竹雄(北栄町) 山上嘉平(幸町) 向井浩二(中小屋)

〔社会貢献賞〕

高田勝三郎(太美町) 増間仙一(青山中央) 宮崎勉(川下右岸) 中井一郎(青山中央) 佐藤信雄(青山中央) 堀内英雄(六軒町)

〔産業貢献賞〕
宮崎敬喜(川下左岸) 辻野欣二(太美町)

〔教育文化貢献賞〕
川代市太郎(太美町)

〔善行賞〕
川村英雄(川下右岸) 戸田昭治(札幌市) 白井詰應(対雁通) 田西精一郎(旭町) 山崎長太郎(幸町) (株)こんもく代表取締役 近藤勝宏(対雁通)



手づくりの作品には、心の温かさが感じられる

町文化祭 心の和と人の輪テーマに 手づくりの展示会・発表会



見事な大輪が咲きほこる菊花展、訪れる人の心をなごませる



サンタのメルヘン人形はこれから大活躍しそう

「文化でつくろう 心の和と人の輪」をテーマに11月2日から4日までの3日間、当別町公民館、当別町青少年会館など5会場で第41回当別町文化祭が開かれ、約10,000人が見学に訪れました。今年には開基100年を記念して本町出身の本庄陸男が当別開拓の労苦を描く小説「石狩川」を映画化した「大地の侍」の

映画鑑賞会なども行われました。発表会では、舞踊、民謡、詩吟、吟舞、ジャズダンスなどが行われ、出演者が日ごろの練習の成果を披露すると、会場につめかけた観客から盛んな拍手が送られていました。展示会には生花、アートフラワー、メルヘン人形、絵画、書道などの力作が並び、訪れた人も熱心に見入っていました。

なかには、籐工芸会員が春から制作したという、「ぶどう園」と題した籐工芸は、幅2尺、奥行6尺にも及び、天井から籐で編みあげたぶどうの房と葉が生い茂る様子を表現した見事な出来ばえでした。また、11月3日の「文化の日」に町の自治、経済、社会、文化等の発展に貢献した方の功績をたたえる、当別町表彰式が勤労者福祉センターで行われました。

今年、10月15日に開かれた町表彰審議委員会(坂牧義文委員長)で審議された自治、社会、産業など5分野に18個



籐でつくった「ぶどう園」、実がすずなりだ

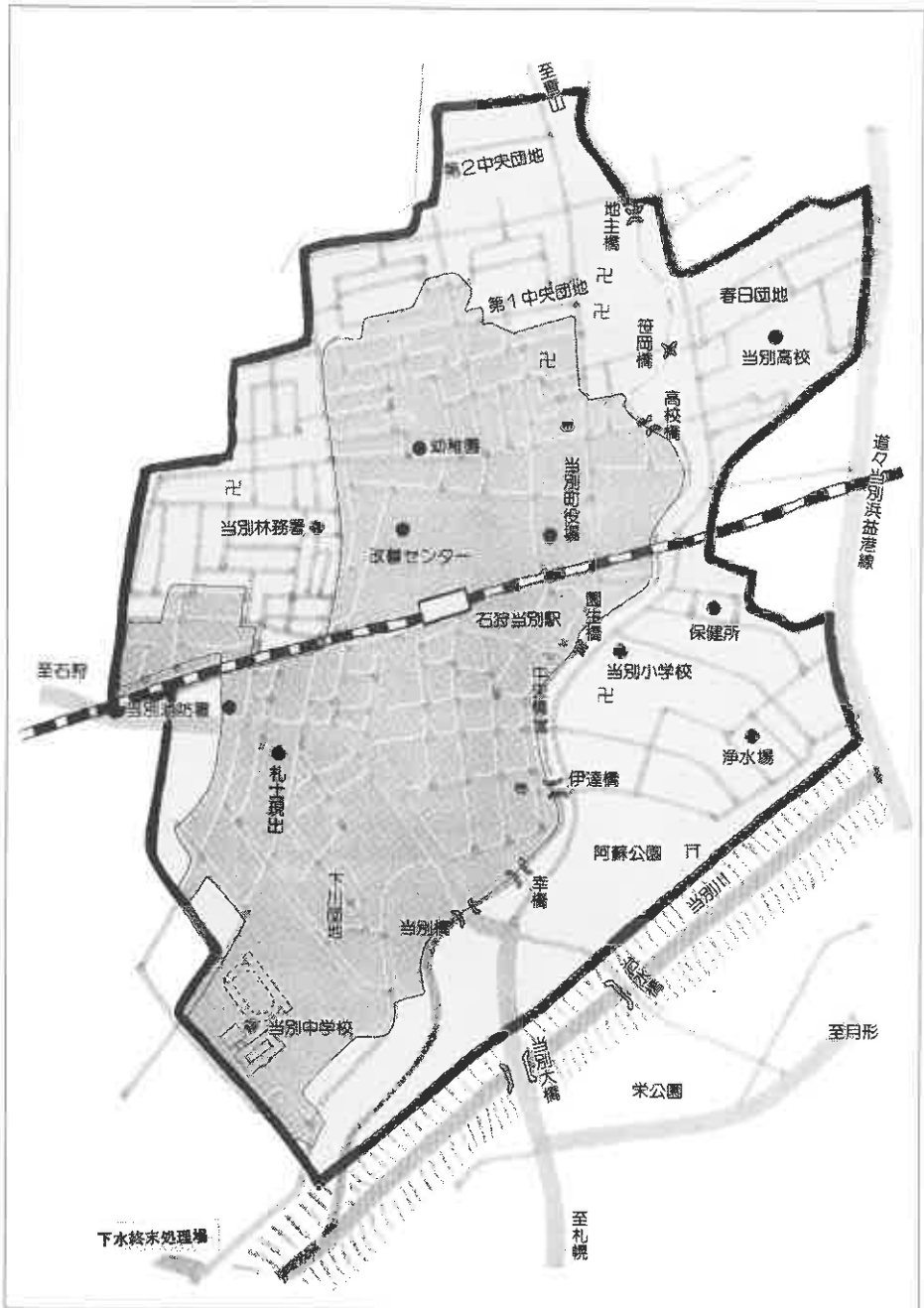
清潔で快適な生活のため 水洗化にご協力を！

昭和60年9月から共用開始した下水道も、12月中には図の黒線内の区域217haが、下水道の使用ができるようになります。

下水道は、町民が清潔で快適な生活を送るための必要な施設であり、町では鋭意努力し整備してきています。区域内の家庭で台所、浴室からの雑排水及びトイレの水洗化をしていない方は、1日も早く排水設備をしてください。

町では、水洗トイレの普及、促進のため水洗トイレ改造資金の貸付を行っていますので、下水道施設普及のためご協力をお願いします。

トイレの水洗化ができる区域



水洗トイレ改造資金とは
トイレの水洗化は3年以内と、法律で義務付けられていますが、既設の便所を水洗ト

イレに改造しようとする方に、経済的負担をなるべく少なくするための貸付制度資金です。

貸付の対象者は、下水道処理区域内の既設住宅の所有者又はその所有者の同意を受けた使用者で、新築住宅や法人、団体所有の住宅は該当になりません。

貸付額は、トイレ1器につき40万円以内で、毎月元金均等40カ月以内の償還です。無利子ですが、原則として処理区域の告示後3年以内に工事をした方に限ります。詳しい問い合わせは、下水道課(☎2-2411)まで



40年振りに顔を見せたサケ

サケがそ上した原因は、道民の森オープンに合わせて、青山ダムの水を満水にしたのを、その後放流したため当別川の水量が増えたからではないかと考えられています。それと、下水道の普及によりパンケ川がきれいになったためではないかと考えられています。それにしても、サケが毎年そ上し、産卵する場所が出来れば、素晴らしいことです。

当別町市街を流れるパンケ川に、10月23日サケがそ上しているのを近くの町民が発見し、初めて見るサケに驚きの声をあげました。パンケ川は当別川から石狩川にそそぐ小さな川で、サケが発見された伊達橋(元町)付近の川幅は約6m、水深約20mと、サケがそ上するような環境とは思われなところ

です。10月23日から27日まで確認されただけでも計16匹と数が多く、メスの腹には産卵間近いしま模様ははっきりと見ることができました。近くに住む松山房二さんも、「昭和25年からここにいてサケを見るのは初めて」とびっくりした様子で話します。サケがそ上した原因は、道民の森オープンに合



健康美コンクールで最優秀賞を受ける受賞者

が視力、聴力、血圧などの身体測定を行ったあと、ボールを使ってのジグザグドリブル、垂直とびなどの体力測定を行った結果、40代の最優秀者に池内芳美さん(北栄町)、松江藤枝さん(栄町)が、50代に大関知司さん(緑町)、竹田信子さん(東裏)、60代に岡務卯さん(青山中央)、宮永美代子さん(幸町)が町の健康優秀者に決まり、健康まつり会場で表彰されました。

このあと、サイクリング車5台などが当たる健康宝くじが会場を訪れた個人を対象に行われ、抽選される番号の発表毎に会場は歓声とため息が交り合っていました。金賞のサイクリング車は北栄町の加勢奈緒子さんに当り、思いがけないビッグプレゼントに大喜びをしていました。

開基120年記念健康まつり 健康美コンクールに48人参加

町開基120年記念事業の一環として10月20日、21日の両日町総合体育館、農村環境改善センターで「さわやか健康まつり」が開かれました。健康の大切さを町民にアピールしようと町が主催したもので、健康美コンクール、健康宝くじ、健康チェックコーナーなど健康をテーマに盛りだくさんの催しが行われ

ました。健康美コンクールは、心身ともに健康な40代から60代までの年代毎の男女を選ぼうとするもので、健康自慢48人が応募しました。審査は、後藤良一当別保健所長ら



サイクリング車のビッグプレゼントに当選者はにんまり

第1回バウンドテニス道央地区親善交流大会が町総合体育館で10月28日行われ、石狩町、広島町など近隣7市町村から90人が参加しました。

バウンドテニスは、テニスと卓球を合わせたスポーツで、子供からお年寄りまでが楽しめることができます。

この日は、アリーナに10面のコートをつくり、決勝トーナメント方式でダブルスとシングルの2種目が行われました。

当別町からは20人の選手が出場し、ダブルスで男子が優勝、準優勝、さらにシングルでも1位から3位までを独占し、大活躍をしました。

地元チームが大健闘



稲わらで紙づくり



当別の自然を楽しもうと札幌を中心とした「自然を楽しむ会」(石島忍会長・28人)が10月28日、当別町茂平沢で離農した家を借り、稲わらなどを使った紙づくりをして楽しみました。

同会は、札幌の企画デザイナーの石島さんを始め看護婦、医師、主婦などさまざまな人が集まって2年前に結成されました。

四季を通じ恵まれた当別の森に魅力を感じ、近くの山に入り春には山菜採りなどをして楽しむなど活動をしています。

この日は、稲わら、トウモロコシの皮を細かく切り、カセイソーダを入れて煮て、金網ですいて作っていました。

弁華別中学校(川島正次校長・38人)の3年生男子生徒が、今年も菊づくりに挑戦し見事大輪の花を咲かせました。

同中で菊づくりが始まったのは7年前で、技術家庭科の時間を利用して行われています。

理科の高橋隆成教諭が中心となって、当別菊花同好会(高橋健治会長)の全面協力、兼六香菊、国華山川など約50鉢を育てました。

この成果を広く見てもらおうと、町の文化祭や札幌菊まつりにも出展しました。

弁中生徒菊づくりに挑戦



第12回当別町消費生活展が10月20日、21日両日町農村環境改善センターで開かれました。

「見直そう知恵と工夫と生活を」をテーマに、衣・食・住などのコーナーを設け衣服のリフォームや不用品再活用セールを行ない、消費者としての目を養い、同時に暮らしの中の食生活や健康にも認識を高めてもらおうとするものです。

会場では、家庭内から出る油などを利用しての手造りせっけんの実演コーナーなどが設けられ、会場に訪れた町民も熱心に見入っていました。

また、青空市場も開かれハクサイ、ダイコン、ジャガイモなどが市価の半値で売られていました。

衣・食・住の生活展



あなたの地区の楽しい催しや、できごとなどを、企画課広報広聴係に、どしどし、お知らせください。

(☎3局2330 内線243)

秋の火災予防運動期間中の10月25日、当別町ビトエの老人保健施設「愛里苑」(林貴子施設長)で、模擬火災訓練が行われました。

訓練には、リハビリなどで入所している76人のお年寄りと33人の職員、当別消防署員、第2分団の消防団員ら38人が参加しました。

1階ボイラー室から出火との想定で、はしご車など7台が出動、入所者の避難誘導と消火などがきびきびした動作で行われ、放水により無事鎮火させて訓練が終了しました。

はしご車など出動し訓練



国民年金だより

年金相談

Q & A ②⑥

■年金と税金

Q 私は、国民年金保険料を毎月期限までに納めています。友人から納めた国民年金保険料は、税金の所得控除になると聞いたのですが本当でしょうか。

A 国民年金の保険料は、税金を計算する時に社会保険料控除として、その年に納めた金額が所得から控除されます。したがってあなたの場合、平成2年1～3月分保険料(24,000円)と4～12月分保険料(75,600円)の合計99,600円が所得から控除され、その分税金が安くなりますので、年末調整や確定申告のときに忘れずに申告してください。

■保険料の納付期間

Q 私は、国民年金保険料を今年で25年間納めました。が、後は納めなくてもよいのでしょうか。

A 20歳から60歳までの40年間は、国民年金に加入し保険料を納めなければなりません。25年間というのは老齢基礎年金を受けるために必要な最低限の年数です。もしも、保険料を今後納めなければ未納期間となり、減額された年金を受けることとなります。したがって老後に満額の老齢基礎年金を受けるためにも、60歳まで保険料を納めなければなりません。

■60歳以降の任意加入

Q 私は、60歳になりましたが、保険料未納期間が多いため受給資格期間の25年に2年間不足しています。今まで納めた23年間の保険料はムダになってしまおうのでしょうか。

A 国民年金は、原則的には20歳から60歳までの間、加入することになっていますが、60歳から65歳までの5年間の間に本人の希望により任意加入できる制度があります。したがって60歳以降任意加入することにより、受給資格期間を満たしたり、年金額を満額まで増額することができます。
■年金保険料は納期ごとに
 年金は、保険料を納めた月数により、受給権はもちろん、受給できる年金額も決まります。また保険料は滞りまして後で納めるのが大変です。保険料は必ず納期内に納めましょう。
■年金相談所の開設
主催 札幌北社会保険事務所
相談日 12月20日(木)
場所・時間 当別町商工会館 午前10時～午後3時

死亡からみた三大成人病

昨年町の死亡数は140人で、初めて出生数を上回りました。

死因の第1位はがん35人(25%)・第2位は脳卒中29人(20%)・

こんにちは
保健婦
 ☎3-2330(内線127)

第3位は心臓病18人(13%)でした。これら三大成人病といわれるもので、全体の約60%を占めています。

■助かるがんも多

がん死亡の半分は40代～60代の働き盛りにおきています。また部位別では胃がん7人・肺がん6人・すい臓がん3人で食道、直腸、肝臓、子宮、乳房がんが各2人ずつで

す。胃・肺は性別にかかわらず多く、最近では肝、直腸、すい臓なども増えています。

これらのうち胃、肺、子宮、乳がんは検診による早期発見が可能なものです。

町の集団検診の過去10年間のがん発見者数と、その間のがん死亡者数は表のとおりです。肺がん検診は昭和59年から開始されたので6年分のデータです。子宮がんは検診の成果が表われていますが、他はまだまだです。検診で見られた方は皆助かっています。検診を活用すると今のがん死亡の1/4は減らすことができます。と思えます。

■いぜん多い脳卒中

脳卒中死亡は男10人、女19人と女性に多く、年齢別では40代1人、60代5人、70代11人、80代12人と比較的高齢者が多いです。脳卒中は全国的には5年前に心臓病と順位が逆転し減少していますが、当別町ではいぜんとして多いの

が特徴です。脳出血は4人と少なく、脳梗塞が増えています。脳卒中は寝たきりにつながりやすく、老年痴呆の発生も高いなど療養上の苦勞も多いため、予防対策が重要です。

■若い人は要注意

心臓病死亡は全国、全道に比べて少ない方です。しかし心筋梗塞など虚血性心疾患の割合は心臓病死全体の1/3で、これは全国と同じ傾向です。食生活の欧米化がすすんでいるので高コレステロールにもなりやすく、注意が必要です。

40歳をすぎたら成人病予備軍と考え、健康に注意しましょう。

表 がん死亡数と検診による発見数の比較

	死亡数(人)	町の検診で発見し治療した人
胃がん	59	12
肺がん	41	5
子宮がん	5	9
乳がん	9	7

(S55～H1の10年間)

健診と相談

母親学級

【D】コース(安産のための準備)
 とき 12月13日(木)
 受付 12時50分～13時
 ところ 母子健康センター

歯科検診・フッ素塗布

対象 1歳0カ月以上の幼児
 とき 12月14日(金)
 受付 9時～11時
 13時～14時
 ところ 当別保健所
 料金 フッ素塗布 370円
 むし歯の進行止め有料
 ※当日は予約制です。申込は保健所まで。歯をみがき、歯ブラシ、タオル、コップをお持ちください。

乳幼児健診

小児科医師(札幌市立病院)の診察、保健婦、栄養士による相談を行います。
 ◎4カ月・7カ月児健診
 とき 12月18日(火)
 受付 13時30分～14時
 ところ 母子健康センター
 ◎股関節脱臼検査
 対象 満4カ月の乳児
 とき 12月18日(火)
 受付 13時～13時30分
 ところ 当別保健所
 料金 1,190円
 ◎10カ月児健診
 とき 12月21日(金)
 受付 13時30分～14時
 ところ 母子健康センター

三種混合

とき 12月20日(木)
 受付 13時～13時30分
 ところ 母子健康センター

胃がん・肺がん検診

日程 1月29日(火)
 1月30日(水)
 会場 当別町農村環境改善センター(西町)
 受付 午前7時30分～9時

成人病健康相談

内容 血圧や尿の検査および食事、日常生活の健康管理について相談を受けます。
 とき 12月7日(金)
 1月9日(水)
 受付 9時30分～11時
 ところ 役場福祉相談室

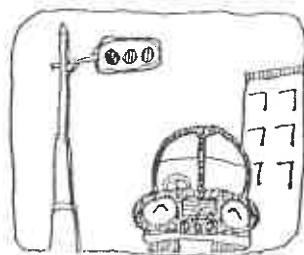
老人健康相談

内容 保健婦による血圧測定及び生活、栄養の相談
 とき 12月19日(水)
 時間 13時～15時
 ところ 当別町老人憩の家
 持ち物 健康手帳

対象者	検査内容	料金
胃がん検診 35歳以上の町民	バリウムによるレントゲン撮影	・1,000円(国保と生活保護者は無料)
肺がん検診 40歳以上の町民	・胸部X線撮影 必要者に喀たん検査	・同上(ただし保たは保者 800円 国保と生活保護者は無料)

申込み期限 1月18日(金)
 申込・問い合わせ 住民課
 保健衛生係
 ☎3-2330
 (内線126・127)

お知らせ



信号機

冬道は危険がいっぱい

本格的な冬がやってきます。この時期は、積雪や凍結などで交通環境が悪化し、交通事故誘発の大きな要因となり、冬型事故が集中的に発生する傾向にあります。

このため、12月1日から10日までの10日間、スリップなどの交通事故防止と飲酒運転の絶滅を重点とした「冬の交通安全運動」が全道的に展開されます。運転者も歩行者も、交通事故を未然に防止するために、次のことに注意しましょう。

スピードダウン運転を!!
冬道は、危険がいっぱいです。スピードは控えめに、あくまでも道路環境に応じた安全運転を心掛けましょう。
飲酒運転の追放!!

歳末は飲酒する機会が多くなります。飲んだら絶対に運転をしないようにしましょう。
横断は、安全な場所を!!
車の直前、直後の横断は危険です、信号機のある場所や、横断歩道など安全な所を選んで、正しく渡りましょう。

(わたしも交通安全運動)

受講者募集 西当別地区 婦人文化教室

楽しい趣味や文化活動の普及をはかり、婦人の向上と婦人サークルの育成をすすめ、ふれあいと創作の喜びを深めるため、西当別地区の婦人文化教室を開催します。

- ◆ 期間 平成3年1月1～3月
- ◆ 会場 当別町青少年会館(太美町)
- ◆ 受講料 無料(ただし、材料費は各自負担です)
- ◆ 申込み 受講希望者は、電話で、青少年会館(☎6-2

内容及び日程

教室名	曜日	時間	講師	1月	2月	3月
初心者の書道教室	第1 第3 火	14～ 16	青少年会館指導員 福島 辰男	29	5 19	5 19
初心者の短歌教室	第2 第4 火	14～ 16	青少年会館指導員 福島 辰男	8 22	12 26	12 26
初心者のジャズダンス教室	木	10～ 12	ジャズダンス指導員 桜田瑞智子	9 23 30	6 13 20 27	6 13 20 27
初心者の紙ねんど人形教室	金	10～ 12	紙ねんど人形教授 山内真美子	11 18 25	1 8 15 22	1 8 15 22 29

各施設の年末年始の休み

はやいものでもう12月です。今年もあと一カ月を残すだけとなりました。役場業務と各施設の年末年始の休みは次のとおりです。
ご協力をお願いします。
◆ 12月29日から1月5日まで 休み。開拓郷土館、伊達記念館、伊達別館
◆ 12月30日から1月5日まで 休み。農村環境改善センター、勤労者福祉センター、総合体育館
◆ 12月31日から1月5日まで 休み。役場本庁舎、太美・青山・四番川各出張所、公民館、

青少年会館、青少年センター、世紀会館
◎ゴミ収集
ゴミの収集は、1月1日から1月3日まで休みです。年末のゴミは早目に出すようにしましょう。
なお、多量に出るゴミは自己搬入することになっていきますのでご協力願います。自己搬入の際はお手数でも、役場保健衛生係窓口まで印鑑を持参のうえ、許可証の交付を受けてください。
◎し尿くみ取り
12月30日から1月6日まで休みです。
年内にくみ取りを希望する方は、早めに申込みください。

12月は町税の納税推進強調月間

町では、12月を「納税推進強調月間」と定め12月25日までの納期限内に、各種町税を完納するよう呼びかけています。

滞納を続けますと延滞金のほか、「財産の差押え」の滞納処分を受けることにもなりまので、納期限までに納付してください。

※日曜納税相談

町では、町税を納期限までに納付できない方のために、

平日も相談を受けていますが、仕事の都合などで休日になければこれない方のために、日曜納税相談日を開設します。

- ◆ お気軽にご利用ください。
- ◆ 日時 12月16日(日)午前9時～午後3時
- ◆ 会場 役場一階税務課徴収係窓口

町政功労者逝去

平成2年1月～11月末までに町政功労者4名の方々が亡くなりました。謹んでご冥

- 福をお祈り申し上げます。
▼ 藤沢健夫さん(77歳・大町) 平成2年1月16日死去
経歴 昭和31年から昭和47年まで教育委員。昭和43年に町政功労者となりました。
- ▼ 山田正一さん(68歳・北栄町) 平成2年8月24日死去
経歴 昭和32年から昭和62年まで農業委員会委員、昭和28年から昭和38年まで川下左岸駐在員。昭和43年に町政功労者となりました。
- ▼ 加藤義正さん(76歳・中小屋) 平成2年10月16日死去
経歴 昭和42年から平成2年まで当別町議会議員、その

お待ちしております 新年交礼会

平成3年新年交礼会を次により行います。
多数の参加をお待ちしています。



新着図書から



公民館図書室

- 貸出は、午前10時～午後5時
- 休館日は、毎週月曜日、祝日
- 貸出期間は、2週間です
- 貸出冊数は、3冊までです
- 利用は、無料です

一般図書

著者	図書名
池波 正太郎	影法師
水上 勉	山の暮れに(上)(下)
森 瑤子	夜の長い叫び
江波戸 哲夫	青い嵐(上)(下)
俵 万智	りんごの涙
佐藤 愛子	メツタ斬りの歌
伊佐 千尋	目撃証人
渡辺 淳一	新釈からだ事典
三浦 朱門	結婚セミナー
石川 一芳	課長さん係長さんが悩んだとき読む本
池波 正太郎	助太刀
落合 恵子	女と男
シドニイ シェルダン	真夜中は別の顔(上)(下)
赤川 次郎	ローレライは口笛で
西村 京太郎	十津川警部の困惑

児童図書

著者	図書名
鈴木 純子	サンタクロースのさいごのプレゼント
立原 えりか	しろいおくりもの
神沢 利子	けちんぼおおかみ
桜井 あさを	おでんわるるる～
松谷 みよ子	ちいさいモモちゃん ほんぼがいたいたくまさん ちいさいモモちゃん うみとモモちゃん
//	
浜野 卓也	ゆかりとひろし日記はひみつ
国松 俊英	だいすきお父さんロボット
藤崎 康夫	愛のかけ橋
柳 生 弦一郎	おしっこの研究

お知らせ

●●●●● 水道の冬仕度はお済みですか

今年も寒さの厳しい季節になりました。過去に水道が凍結して困ったことはありませんか。凍結は水抜栓を正しく使用することにより防ぐことができます。この冬は、不愉快な思いをしないよう次のことに注意しましょう。

◎冬期間、床下の換気孔を閉めましょう。

◎アパート、貸家の所有者は空屋住宅の水抜きをしましょう。

◎就寝前や泊りがけで家を留守にするときは、水抜きをしましょう。日中でも長時間家を空ける時は水抜きをしましょう。

◎水抜きの方法
水道の蛇口を開けて水抜栓のハンドルを「止」の方向にまわす。機種により「止」の方向に倒す。(半開きの状態では、漏水となりますので注意してください。)

◎水洗トイレの水抜きの方法
タンクについている排水ハンドルを、「上」の方向にまわし固定してから前項と同様の方法で行ってください。

◎水が落ちたか確認しよう
水を落とした直後に、蛇口の口に軽く手をあてて、空気を吸いこむようですと正常に

◎もしも凍らせてしまったら
水道管にタオル等を巻きつけ熱湯をかけ5分程度そのままにしておくと、軽い凍結の場合は水が出るようになります。

◎修理当番指定業者
毎月1日～10日
辻野建設工業 ☎3-2408
毎月11日～20日
大栄建工 ☎3-2032
毎月21日～末日
三共建設 ☎3-3519

水道サービス月間 (12月30日まで)

12月30日まで水道凍結防止サービス月間として水抜栓の調整及びゴムリングの取替を無料で行います。

次のようなときは水道課(☎2-2411)または指定水道業者へ申込みください。

◎水抜栓のハンドルをまわしても水が抜けないとき

◎ハンドルが空まわりする、あるいは特に重たいとき

◎水抜栓から音がするとき

長寿で健康な町づくり 26 みんなの国保110番

今月は、前回に引き続き「高額療養費制度」について説明します。

〈事例〉
生鮮食品店を営むAさんのお宅は、家族全員が国保に加入しておりますが、先月風邪をこじらせ奥さんのB子さんと次男のC君の2人が入院し、B子さんについては35,000円、C君については40,000円の医療費がかかりました。

Aさんは、同一人が1カ月に同じ医療機関で、医療費が57,000円を超えなければ高額療養費の払い戻しを受けられないと思っておりましたが、S市役所に勤務する友人から今回のような場合には、特例措置により払い戻しを受けられることができると言われました。本当でしょうか。

〈説明〉
Aさんの解釈のとおり「高

額療養費制度」は、原則として同一人が1カ月に同一の医療機関において、医療費が57,000円を超えた場合に適用されるものです。

しかし、国保では被保険者保護救済のため、対象額が57,000円に満たない場合でも、同一人が1カ月に同一医療機関において、30,000円以上の医療費の支払いをした場合に限り、次のような特例措置を設けています。

同一の世帯で、1カ月に30,000円(町民税非課税世帯は21,000円)以上の医療費の支払いが2件以上ある場合、その金額を合算し、57,000円(町民税非課税世帯は31,000円)を超えた金額を、高額療養費として払い戻しを受けることができます。

今月の事例のように2人の医療費の支払い額が、それぞれ対象額の30,000円を

払い戻される (Aさんの事例) 例 (B子さん 35,000円 + C君 40,000円) - 57,000円 = 18,000円
払い戻されない例 (○子さん 20,000円 + ○君 40,000円) - 57,000円 = 3,000円

生活道路を守ります 降雪量10センチで除雪



路上駐車は迷惑です

冬の生活を快適にするためには、毎日利用する道路が除雪されなければならない。町では、約270歳の道路を通勤、通学にまにあうよう除雪をします。

除雪の基準は、早朝は降雪量がおおむね10センチ以上、またはふきだまり等で交通支障がある場合は午前7時までに路線を除雪します。

除雪の敵です路上駐車
雪の降った翌朝によく雪にうもれた車を見かけます。そして、その車の周りには除雪ができず雪が残されています。道路に車が放置されていると除雪ができないだけでなく、除雪のドライバーも細心の注意をはらい、除雪時間の遅れにもつながります。

路上駐車は、みんなの迷惑です。

狭い道路では片側に雪が集中することもあります
町民の皆さんから「家の前に雪をおいていく」など苦情がありますが、これは除雪を効率的に行うために、一定方向から除雪を始めるためと、機械の性能や道路事情によるものです。

是非ご理解をお願いいたします。

雪捨て場を利用される方に
今年も下川町の当別川河川敷地(当別中学校向かい100辺)が町の雪捨て場となります。

利用時間は、午前8時から午後5時までです。ゴミ等は投げないよう利用ください。

健康スポーツプラザ

師走を迎え、いよいよ冬將軍の到来です。総合体育館では、北国の厳しい大自然を友とし、寒さに負けない強い心身をつくるために、次の教室を開設致します。誰にでもできる、そして新しい友達の輪をつくる、こんなことを目指す楽しいスポーツ教室には是非ご参加ください。

〔夜間体力づくり教室〕
▼日時 12月6、7、13、14日の4日間 午後7時から8時30分まで
▼場所 当別町総合体育館
▼対象 高校生以上の男女30人
▼内容 ①ストレッチ体操 ②太極拳 ③エアロビクスダンス ④軽スポーツ ⑤その他
▼保険料 360円
▼申込み 12月4日(火)までに保険料を添えて総合体育館窓口にお申込みください。

〔ジュニアスキー教室〕
▼日時 1月8日(火)～11日(金) 10時～14時
▼場所 中小屋スキー場
▼対象 小学校3・4年生の男女60人
▼内容 スキーの基礎・基本
▼申込み 12月27日(木)午前9時より総合体育館窓口で受けつけます。定員になり次第締切らせていただきます。
▼保険料 360円。申込みの際に納入ください。
▼その他 詳細については総合体育館(☎2-3833)までおたずねください。



みんなの広場

歴史を語り伝えたい 当別の石碑を本に

生まれ育った当別の開拓の歴史を語り、伝えたいと、太美町の鍛冶俊幸さん（67歳）が、町内にある石碑を訪ね歩き、一冊の本にまとめ自費出版をしました。



鍛冶さんは、太美町出身で昭和58年江別第3中学校の校長を退職後、当別・鉄北幼稚園の園長を務め、昨年3月に永い教員生活を終えました。「現在の子どもたちに歴史の大切さが伝わってきていないのでは」と考え続け「石碑など記録に残るものが、一番判りやすいのでは」と町内の石碑を調べ歩くことにしたそうです。今年4月の雪どけから、約6カ月間毎日のように、石碑を探し求め、地域のお年寄りの話を聞き、場所や建立のいわれなど、また一字一句碑文を間違わずに読みとらなければならぬことなど、苦労が多かったと言います。中には青山ダム手前の砂

園の園長を務め、昨年3月に永い教員生活を終えました。「現在の子どもたちに歴史の大切さが伝わってきていないのでは」と考え続け「石碑など記録に残るものが、一番判りやすいのでは」と町内の石碑を調べ歩くことにしたそうです。今年4月の雪どけから、約6カ月間毎日のように、石碑を探し求め、地域のお年寄りの話を聞き、場所や建立のいわれなど、また一字一句碑文を間違わずに読みとらなければならぬことなど、苦労が多かったと言います。中には青山ダム手前の砂

金沢の奥に、石碑があることを教えてもらい、沢に入り一時間ぐらい歩き続けて、やっと「竜神様の碑」を見つけた時は感激したといいます。この沢は、明治36年から昭和の初めごろまで、砂金が採れていたため、昭和10年9月に石碑を建立し、水の神様を讃えたようです。一冊にまとめた本は「歴史を刻む碑（いしぶみ）」とタイトルが付けられ、B5判で61ページのもので、開基・開拓に関する碑、自然文化に関する碑など大きく8つに分類し写真を入れて判りやすくしてあります。

加藤チヨ子さん 辻野妙子さん 文化センター基金 に百万円を寄付

加藤チヨ子さん（中小屋）が



辻野妙子さん



加藤チヨ子さん

11月2日、辻野妙子さん（幸町）が11月13日、それぞれ町役場を訪れ「町文化センターの建設に役立ててほしい」と100万円を配野町長に手渡しました。加藤さんは、夫義正さんの死去に伴い、また、辻野さんは夫武雄さんの死去に伴い、地域の人々に大変お世話になりました、香典返しにと寄付を申し出たものです。町では、町文化センター基金条例に基づき寄付を積み立てることにしました。

写真・ふるさとの鳥

山地の広葉樹林で繁殖し、秋になると小さな群をつつて人里にもおりてきます。エサ台にもきてトウモロコシ、パンくず、脂身を食べます。ハトぐらいの大きさで、本州のカケスは頭が白いが、北海道のカケスは頭が赤と呼ばれています。翼の青と黒と白のまだらが目立ちます。ゆつくりフワリフワリという感じで飛びます。他の鳥の鳴きマネをすることもあり、ジェー・ジェーとしわがれた声を出します。



カケス

ぐるーぷ・サークル紹介



短歌で自己をみつめる 西当別短歌サークル「蒼林会」

「短歌は、言葉でなく自己の生活をいかに見つめるかが大切で」と西当別短歌サークルの代表 福島辰男さん。5年前に5人で結成したサークルも、現在18人に増え、毎月一回青少年会館に集まり、活動を続けています。

毎月一人2首作品を持ち寄り、そのうちの5首を選び、互いに評価しながら、相手の心に響くものを作り上げるようにしているそうです。今年同サークルでは、結成5周年と当別町開基120周年を記念して、例会などや新聞に投稿してきた短歌集「蒼林」創刊号を発行しました。「蒼林」の題名は、小説「石狩川」に描かれている、当別開拓にあたった伊達邦直らがうっ蒼とした密林をかき分け、苦闘した様子から取ったもので、会員自選の50首ずつが掲載されています。開拓の鉄うち振りし祖先のすがた 偲ばゆ蒼き森かげ

寄付ありがとうございました

- ☆社会福祉協議会へ
 - ▽平紀江子さん（春日町）から3万円
 - ▽澤田昭治さん（川下左岸）から5万円
 - ▽花井昇さん（元町）から20万円
 - ▽塩谷エイ子さん（太美町）から5万円
 - ▽田中千代子さん（旭町）から5、243円
 - ▽髭右近ゆかりさん（対雁通）から677円
 - 全久寺総代表 三宅昌幸さん（対雁通）から4,500円
 - ▽匿名（太美町）から481円
- ☆弁華別保育所へ
 - ▽千葉電気商会からステレオ一式

12月4日～10日 第42回人権週間

12月4日～10日までは「人権週間」です。毎日の生活の中で、人権問題ではなからうかと、お困りの方は相談ください。当別町での人権擁護委員は、次の方です。▽近藤勝（春日町） ☎3-2595

当番医のお知らせ

当番医については変更することがあります。診療前に必ずお確かめください。また救急以外の夜間診療はさけてください。平日は17時より翌朝9時まで 土曜は12時より翌朝7時まで 日曜、休日は7時より翌朝9時まで

12月	1	2	3	4	5	6	7	8
	近	堀	勤	太	堀	中	近	中
	9	10	11	12	13	14	15	16
	勤	太	近	中	中	堀	堀	太
1月	17	18	19	20	21	22	23	24
	近	堀	堀	堀	勤	中	堀	堀
	25	26	27	28	29	30	31	/
	堀	中	太	勤	堀	堀	堀	
	1	2	3	4	5	6	7	8
	勤	太	近	堀	堀	堀	堀	太

- 近藤診療所 ☎3-2021 旭町
- 中央外科 ☎3-3004 旭町
- 太美中央病院 ☎6-2332 太美町
- 勤医協 ☎3-3010 末広町
- 堀江病院 ☎2-3111 樺戸町

戸籍の窓

10月16日～11月15日届出
おめでとございます

氏名	父	母	住所
浪岡 博子	由希雄	和子	春日町
鏡原 明奈	勲	順子	北栄町
松館 悠	品宏	智代美	北栄町
福井 緒理恵	昭	和多美子	春日町
平 俊勝	里志	智恵子	春日町
杉山 雄介	博行	真由美	栄町
石崎 友雅	聖	美津子	白樺町

おくやみ申し上げます

氏名	年齢	世帯主	住所
加藤 義正	(76)	本人	中小屋町
花井 カネ	(75)	昇	元太美町
塩谷 慶吾	(66)	本人	太美町
待永 キヨ	(75)	光雄	栄町
辻野 武男	(87)	本人	幸町
真野 要	(65)	本人	西町



小説「石狩川」の舞台 本庄陸男生誕の地

当別町ビトエの町道南3号と15線の交差点に「本庄陸男生誕の地」の碑が建っています。この碑は昭和33年当別観光協会創立10周年を記念して、本庄陸男の生地而建てられたものです。本庄陸男は明治39年2月20日にビトエで、生まれま

した。父は佐賀県から明治31年に開拓農家として渡道、明治末には、この地で荒物小売商を営んだといわれていますが、商売に失敗し大正2年に現在の紋別市に移り住みます。本庄陸男は9歳までの少年時代を、ビトエの地で石狩川を見て育ちます。代表作小説「石狩川」は、少年時代の郷里当別を中心とする、伊達士族の開拓の苦闘を描いたものですが、35歳で病気のため亡くなり、未完のままとなっています。生誕の碑裏には、小説「石狩川」の一節の「いの一、この川を見つけたのは肥え太った鮭の群でもあったろうか」の文が刻まれています。小説「石狩川」を原作とした、東映映画「大地の侍」が昭和31年に制作されています。

おいしいさん・おばあさん



三角 政雄さん (東藤岱・73歳)

昭和22年初めて 5反の米づくり

「昭和22年、電気が通った年に、初めて5反ほどの田んぼを作ったんですよ」と三角さん。祖父は、明治29年石川原から入植したそうで、道がないためポン川をさかのぼってこの地についたと言います。当時一帯は、アカタモやハンノキがうっそうと茂っており、熊なども出没し畑を荒らすなど、今では想像もつかない未開の地だったそうです。その木を一本一本切り倒し畑にして、アワ、トウキビ、ヒエを植え、それを主食にしていたそうです。米づくりが本格的になったのは、昭和35年頃に篠津運河の掘った土を畑に入れたと言います。とところで三角さんは、昭和43年から民生児童委員として活躍しています。役場での会議には、家から10キロの道程を自転車で通うなど元気いっぱいです。「もつと」人の交流が深まってほしい」と話す三角さん。これからも頑張ってください。

句読点

早いもので今年もあと一カ月で過ぎようとしています。今年、スウェーデン国王、レクサンド少年アイスホッケーチームの来町、開基100年記念事業の大相撲当別場所、道民の森一部オープン、スウェーデン風駅舎了R大美駅の落成など、実に話題の多い年でした。

取材を通じていままでと違う、「町の活力」を実感したような年でした。しかし、農業を基幹産業とする本町にとって、農業環境は依然厳しいものがあります。農業の活性化が町の活性化に直結するだけに、安定した農業経営の確立が必要となっています。

人のうごき

11月1日現在 (前月との比較)	
総数	15,977人 (+12)
男	7,969人 (+2)
女	8,008人 (+10)
世帯数	5,360戸 (+15)
10月中の出生	9人
死亡	7人
転入	65人
転出	55人